

佐渡汽船

本店：新潟県佐渡市両津湊353番地

【商号履歴】

佐渡汽船株式会社（1932年4月～）

佐渡商船株式会社（1913年2月3日～1932年4月）

【株式上場履歴】

<大証JASDAQ>2010年4月1日～

<ジャスダック>2004年12月13日～2010年4月1日（取引所閉鎖）

<店頭>1968年9月17日～2004年12月12日（店頭登録制度廃止）

<新証>1949年7月4日～1949年8月10日（廃止）

【合併履歴】

1932年4月 日 新潟汽船株式会社

1932年4月 日 越佐商船株式会社

【沿革】

大正2年2月 会社の前身佐渡商船株式会社を資本金15万円を以て創立

大正3年3月 大阪の小野造船所へ200屯型鋼製の汽船2隻を建造発注

昭和7年4月 新潟汽船株式会社と越佐商船株式会社とを買収合併し、佐渡汽船株式会社と改称

昭和24年12月 下記定期航路事業の経営免許が交付され運用開始 イ 新潟～両津間の定期航路事業 免許番号新潟第20号 ロ 小木～新潟間の定期航路事業 免許番号新潟第21号 ハ 小木～直江津間の定期航路事業 免許番号新潟第22号

昭和37年7月 郵便物の運送委託契約を締結

昭和39年6月 佐渡市両津夷に旅客乗降用ターミナルビル完成、本社を新ターミナルビルに移転

昭和42年2月 一般旅客定期航路事業・自動車航送事業、手荷物及び自動車航送運賃の認可を受ける

昭和42年3月 当社初めてのカーフェリー「さど丸」を建造 新潟～両津間に配船

昭和43年9月 社団法人日本証券業協会 東京地区協会に店頭登録

昭和44年7月 資本金を2億5千万円増額し5億円とする

昭和45年9月 佐渡観光ガイド株式会社(現・佐渡汽船スチュワーデス株式会社、現・連結子会社)設立

昭和45年12月 新潟県観光サービス株式会社(現・新潟県観光株式会社、現・連結子会社)設立

昭和46年7月 株式会社両津港ターミナルビル(現・両津南埠頭ビル株式会社、現・連結子会社)設立

昭和47年5月 佐渡汽船清掃株式会社(現・万代島ビルテクノ株式会社、現・連結子会社)設立

昭和48年4月 真野観光開発株式会社(現・株式会社佐渡歴史伝説館、現・連結子会社)設立

昭和48年4月 新潟～赤泊～寺泊間の定期航路事業の免許を受ける 免許番号新潟第23号

昭和49年2月 佐渡が島運送株式会社(現・連結子会社)設立

昭和52年5月 日本初の超高速船ジェットfoil「おけさ」新潟～両津間に就航

昭和56年7月 新潟市中央区万代島に旅客乗降用ターミナルビル完成、新潟営業所を新ターミナルビルに移転

昭和57年2月 佐渡汽船メカニカルサービス株式会社（現・佐渡汽船モーターズ株式会社、現・連結子会社）設立

昭和58年1月 有限会社佐渡イエロー急便（現・株式会社佐渡イエロー急便、現・連結子会社）設立

昭和58年1月 有限会社佐渡汽船宅配（現・佐渡汽船通運株式会社、現・連結子会社）設立

昭和59年4月 佐渡汽船コンピューターサービス株式会社（現・連結子会社）設立

昭和60年2月 佐渡市小木に旅客乗降用ターミナルビル完成、小木営業所を新ターミナルビルに移転

昭和63年6月 上越市直江津港に旅客乗降用ターミナルビル完成、直江津代理店を新ターミナルビルに移転

昭和63年11月 株式会社佐渡西三川ゴールドパーク（現・連結子会社）設立

昭和64年1月 免許番号新潟第23号・新潟～赤泊～寺泊航路のうち新潟～赤泊間の運航を休止し、寺泊～赤泊間を通年運航とする

平成2年1月 新潟～赤泊～寺泊航路のうち、新潟～赤泊間を廃止し、航路名を寺泊～赤泊航路に変更

平成4年3月 長岡市寺泊に旅客乗降用ターミナルビル完成

平成12年4月 佐渡市赤泊に旅客乗降用ターミナルビル完成

平成16年12月 株式会社ジャスタック証券取引所に株式を上場

平成19年12月 資本金を3億1,103千円増額し8億1,103千円とする